

磯子区の歴史年表

〈 〉 内の数は令和4年4月1日現在のものです。

元号 年 月 日	出 来 事
昭和2年10月1日	区制施行により磯子区が誕生。同時に、鶴見区、神奈川区、中区、保土ヶ谷区が誕生
12月	西根岸町、滝頭町、丸山町、岡村町、磯子町、森町、中原町、杉田町、上中里町、氷取沢町、栗木町、田中町、峰町、矢部野町の14町で発足
昭和5年4月1日	磯子町に区役所・磯子警察署が完成
7月10日	湘南電気鉄道（現京浜急行電鉄）の黄金町～浦賀間、金沢八景～逗子間が開通
昭和6年1月30日	森駅（現屏風浦駅）が開業
昭和12年10月1日	杉田駅が開業
昭和16年2月1日	滝頭町（現磯子一丁目）にじんかい処理所が完成（昭18.6月休止）
昭和20年4月15日	磯子区制10周年
5月29日	軍が杉田町地先5万坪を埋め立てる。また、中根岸町を埋め立て、飛行場を開場
昭和21年10月7日	滝頭町、原町、中根岸町の一部521戸が空襲で焼失
昭和22年4月1日	西根岸上町、西根岸馬場町、滝頭町、丸山町の一部171戸が空襲で焼失
4月1日	区選挙管理委員会を設置
5月5日	町内会の行政事務が区に引き継がれる
10月1日	学校教育法が施行され、新学制が始まる。磯子、杉田、根岸、滝頭、浜の5つの国民学校が小学校となる（現在16校）
昭和23年3月7日	根岸中学校、浜中学校が開校（現在7校）
5月15日	磯子区制20周年
昭和25年5月25日	警察制度の改革により、横浜市磯子警察署となる（昭26.7.1神奈川県磯子警察署となる）
昭和26年4月1日	磯子区から金沢区が分離・独立
昭和30年1月	岡村公園が開園
4月1日	区社会福祉協議会結成
昭和31年8月3日	磯子区役所庁舎の大改築が完了
昭和32年10月1日	市電の八幡橋～間門間が開通（昭47.3.31市電全廃）
11月16日	杉田貝塚の発掘を開始
昭和34年5月23日	磯子区制30周年
昭和36年7月22日	磯子消防署・磯子公会堂新築落成の祝典を挙げる
昭和37年4月1日	根岸線の建設工事に着工
昭和38年5月25日	三殿台埋蔵文化財調査委員会が発掘調査を開始（昭41.4.2国の史跡に指定）
昭和39年5月3日	県立磯子工業高等学校が開校
5月19日	汐見台団地の入居を開始
昭和40年7月1日	埋立地内の産業道路の全線が開通
昭和41年7月19日	根岸線の桜木町～磯子間の営業を開始
昭和42年6月10日	横浜プールセンター（マンモスプール）を原町に開設
10月1日	南部下水処理場が完成（平17.4.1「南部水再生センター」に名称変更）
昭和43年4月1日	磯子区総合庁舎の落成式を挙げる（磯子三丁目）
昭和44年5月13日	磯子区制40周年
昭和45年3月17日	衛生研究所が滝頭に完成
6月1日	円海山周辺を近郊緑地特別保存地区に指定
	根岸線の磯子～洋光台間の営業を開始
	洋光台団地の入居を開始

元号 年 月 日	出 来 事
昭和47年 6月 5日	洋光台南公園が開園
昭和48年 8月25日 10月15日	市電保存館が開館 洋光台駅前公園、洋光台北公園、洋光台西公園が開園
昭和49年10月 1日 10月 5日	南部児童相談所を洋光台に開設 磯子センター（磯子地区センター、喜楽荘、磯子図書館）が開館（平 11.11 図書館は磯子区総合庁舎に移転）
昭和50年 5月 9日 6月 5日	第1回磯子区民会議を開催 上中里公園が開園
昭和51年 4月 1日 6月24日	公害研究所が滝頭に完成（平 3. 6 「環境科学研究所」に名称変更） 県道横浜逗子線（笹下釜利谷道路）が開通
昭和52年10月 1日	磯子区制 50 周年
昭和56年 2月26日	横浜市南部地域シルバー人材センターが開所（平 2. 4 「シルバー人材センター 磯子事務所」に名称変更）
昭和58年 5月 1日 10月29日	いそご海づくり場が根岸湾の埋立地である新磯子町の最先端に完成（平 14.10.1「磯子海づくり施設」に名称変更） 区のシンボルマークを制定
昭和59年 1月18日 5月 4日	環境事業局磯子輸送事務所が開所（平 17. 3.31 廃止） 横浜こども科学館が開館（平 20. 4. 1 「はまぎん こども宇宙科学館」の愛称へ）
昭和60年 8月 1日	市南部地域療育センターが開所
昭和61年 3月	都市計画道路環状2号線（笹下地区）が完成
昭和62年 1月30日 2月15日 10月 1日 10月 6日	上中里地区センターが開所 磯子スポーツセンターが開館 磯子区制 60 周年 区の木「梅」、区の花「コスモス」を制定 久良岐能舞台が開館
平成元年 6月24日 7月 5日 10月10日	坪呑公園が開園 金沢シーサイドラインが開通 新杉田公園が開園
平成 5年 5月25日 9月 4日	杉田地区センターが開所 洋光台駅前公園こどもログハウスが開館
平成 6年 4月 1日 4月19日 11月 8日	根岸在宅支援サービスセンターが開所（平 7. 1 「根岸地域ケアプラザ」に名称変更） 根岸地区センターが開館（現在 4 か所） 磯子区生涯学習支援センターが開所
平成 8年 8月 1日	新杉田駅前に新杉田行政サービスコーナー、新杉田地域ケアプラザ、通所授産施設「ぽこ・あ・ぽこ」の複合施設を開設
平成 9年 9月 2日 10月 1日 10月25日	洋光台地域ケアプラザが開所 磯子区制 70 周年 区の木・区の花のデザインマーク、区のイメージソング「みんなの I S O G O」を制定
平成11年 4月14日 7月14日 8月 1日 10月18日 11月15日	環状3号線（南側区間）が開通 国道 357 号線（新杉田町～新磯子町）が開通 脳血管医療センターが万治病院跡地に開院、併せて老人保健施設が開所（平 27.1 脳卒中・神経脊椎センターに名称変更） 磯子土木事務所が磯子三丁目に移転 磯子区総合庁舎（区役所、公会堂、図書館）が改築され、業務を開始

元号 年 月 日	出 来 事
平成12年 4月1日 8月1日	磯子第二ポンプ場の供用を開始 磯子地域ケアセンターが開所（平 15. 4. 1 から「磯子地域ケアプラザ」に名称変更）
平成13年 2月15日 10月22日	磯子区福祉保健活動拠点が開所（平 21.12.13 「こすもす広場」に愛称決定） 高速湾岸線の杉田～三溪園間が開通
平成14年 1月1日	磯子福祉保健センターが開所
平成15年 2月1日 8月	根岸なつかし公園が開園 磯子区まちづくり方針（都市計画マスタープラン・磯子区プラン）策定
平成16年 3月1日 5月15日	滝頭地域ケアプラザが開所 磯子区青少年図書館を転換し滝頭コミュニティハウスが開館（現在7か所）
平成17年 1月4日 1月16日 2月5日 3月28日	いそご地域活動ホーム「いぶぎ」が開所 JR洋光台駅近くに「洋光台防犯活動本部」が開所（防犯活動拠点は現在10か所） 磯子区民文化センター「杉田劇場」が開館 環状2号線屏風ヶ浦バイパスが開通
平成18年 4月1日 6月30日 11月1日	磯子区地域福祉保健計画の案内役「梅さん」を制定 横浜プリンスホテルが閉業 屏風ヶ浦地域ケアプラザ、生活支援センターが開所
平成19年 5月14日 10月1日	磯子・海の見える公園が開園 磯子区制80周年
平成20年 11月1日	よこはま南部ユースプラザが開所
平成21年 3月25日	磯子区生涯学習支援センターが「いそご区民活動支援センター」として区庁舎内に移転・開所
平成22年 1月19日	磯子区地域子育て支援拠点「いそピヨ」グランドオープン（体験利用は平 21.11.27 より開始）
平成23年 4月1日 9月1日 10月3日	上笹下地域ケアプラザが開所（現在7か所） 区のマスコットキャラクター「いそっぴ」を制定 たしがしら会館の市民利用を開始 水道局磯子・金沢地域サービスセンターが磯子三丁目に移転
平成26年 3月31日 12月1日	国道357号線（中区千鳥町～磯子区新磯子町）が開通 衛生研究所が金沢区に移転
平成27年 4月1日 11月16日	環境科学研究所が神奈川区に移転 磯子区在宅医療連携拠点相談室「かけはし」が開所
平成28年 3月31日 4月1日	水道局磯子・金沢地域サービスセンターが閉所 洋光台水道事務所が開所 県立汐見台病院が医療法人社団康心会へ移譲
平成29年 3月26日 3月31日 7月20日 10月1日 11月28日	杉田臨海緑地の拡張と杉田臨海緑道の完成 新杉田行政サービスコーナーが閉所 新杉田行政サービスコーナー跡に「新杉田交流スペース」が開所 磯子区制90周年 磯子区青少年の地域活動拠点「イソカツ」が開所
平成30年 3月23日 4月8日 6月1日	磯子区まちづくり方針（都市計画マスタープラン磯子区プラン）改定 磯子区休日急患診療所が磯子一丁目に移転 よこはま南部ユースプラザが磯子三丁目に移転
令和2年 4月1日	県立横浜氷取沢高等学校が開校 （県立氷取沢高等学校・県立磯子高等学校の再編・統合）
令和3年 4月1日	県立外語短大跡地に岡村西公園が開園